

1画下段より

よう、これまで様々な施策を実施してきたが、改めて調査・研究していきたい。

質問 災害時、液体ミルク等を配送していただく協定を、民間事業者と締結したことは、高く評価する。配送できない場合の対応は。

答弁 市の対策部が同事業者の倉庫に行き、物資の配送を行う予定である。

質問 日常的に持ち歩き使用できる、ハザードマップをプリントした「ふるしき防災マップ」を作製しては。

答弁 防災意識啓発のため、提案のあった方法も含め、調査・研究していきたい。

質問 旧拜島公園プール跡地について、活用方法が決まるまでの間、小学生の球技用を使用する考えは。

答弁 地域住民の意見も聞きながら、考えていきたい。

質問 国民健康保険の脳ドック利用補助について、自治会等を活用し、周知・啓発を推進すべき。

答弁 どのような対応が可能か検討しながら、周知の徹底に努めていく。

質問 残堀川第3排水区枝線工事は完了したが、美堀町の雨水被害改善のため、さらに枝線を設置する必要はある。今後の見通しは。

答弁 市内全域で優先順位をつける中で、計画的に整備を進めていきたい。

質問 特定防衛施設周辺整備調整交付金について、固定騒音測定器の設置、騒音被害のある飛行直下の公共施設の老朽化対策や不便と

質問 近年ランドセルの弊害も言われているため、学校、児童、家庭の希望等の実態を調査していきたい。

質問 市内で新型コロナウイルスの検査ができる病院があるが、連携し、ホームページで公表できないのか。

答弁 都が検査のできる病院を公表しない方針であり、それを受け公表していない。

質問 プラスチックごみを減らすため、ごみ収集袋を1枚単位で売り、買った商品を入れて持って帰ってもらうことについて、考えは。

答弁 1枚売りは可能で、収集袋の販売を委託している商工会を通じ、小売店にPRしたい。

質問 都市計画道路3・4・1号への見守り人材の確保に関する所見は。

答弁 交通安全協会にお願いしながら、人員確保に努めている。

質問 学校でのトラブルへの対応に保護者が納得しない場合の市の相談先は。

答弁 教育委員会で相談を受け、学校に実態を調査しながら、必要に応じて指導等している状況である。

質問 学習支援員について、実態を調査し、必要に応じて環境改善をすべき。

答弁 学校長から実態を調査し、改善の必要性があれば適正に改善していきたい。

質問 特定防衛施設周辺整備調整交付金について、固定騒音測定器の設置、騒音被害のある飛行直下の公共施設の老朽化対策や不便と

令和昭島の会

への差し押さえの内容は。答弁 不動産や、給与、年金、預貯金などである。

無 会 派

質問 新幹線図書館を保存するための財源について、クラウドファンディング等を活用し、集める考えは。

答弁 一つの方法として認識しており、どのような対応が可能か考えていきたい。

質問 子どもの学習支援事業について、スタディカーポンの活用など、生活困窮者支援につながる方法の検討を行っているのか。

答弁 事業の在り方について、総合的に研究している。

質問 自殺対策事業について、ゲートキーパー養成研修を市職員全員が受講すべきと考えるが、見解は。

答弁 全員に受講してもらい、一人でも多くの自殺防止に努めたいと考えている。

質問 昭島消防署昭和出張所がJR青梅線北側へ移転するが、南側への緊急車両の通行を考慮すべきでは。

答弁 消防庁や近隣市と体制強化について調整しており、広域的に対応している。

質問 コンピュータ教育事業について、複数のOSを使った学習を将来的に検討していく考えは。

答弁 1人1台のパソコン導入と合わせ、総合的に判断しながら考えていきたい。

質問 コストが高く、稼働日が少ない小中学校のプールについて、民間のプール利用を検討する考えは。

答弁 民間のプール活用に向け、事業者と話し合いを

始めたところであり、今後の検討を重ねていきたい。

研究しながら判断したい。

質問 ICT関連について、地方自治体間の入力と出力システムの統一化が経費削減と事務の効率化につながるかと考えるが、見解は。

答弁 自治体システムの統一化に伴う対応として、業務の運用やフローの見直しについて、各自治体が努力する必要があると考える。

質問 児童センターの風力発電のペラが壊れているが、今後どうするのか。

答弁 対象者を把握し、対応できる費用の問題と風を切る

質問 ふるさと納税について、多くの税金が他市に流れている問題がある。国に制度改正を要望しているのか。

答弁 弊害については、都や市長会等でも同じ認識を持っており、一緒に国に対し声を上げ続けていきたい。

質問 避難行動要支援者について、避難が大変な妊産婦の方も対象者として受け入れるようにしているのか。

答弁 名簿としてはないが、対象者を把握し、対応できるように備えている。

本会議において賛否の分かれたもの

○は賛成 ×は反対

Table with 7 columns: 採決の結果, 無党派, 令和昭島の会, 日本共産党昭島市議団, みらいネットワーク, 公明党昭島市議団, 自由民主党昭島市議団, 件名. Rows include 令和元年度昭島市一般会計歳入歳出決算認定について and 令和元年度昭島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について.

討論

本会議での採決に先立ち、討論が行われました。

令和元年度各会計歳入歳出決算を認定とする委員長報告について

一般 会計

賛成

自由民主党昭島市議団

高橋 誠 議員

歳入については、経常一般財源総額で減となる一方、歳出については、扶助費や普通建設事業費等で増となり、大変厳しい財政運営であったことがうかがえる。こうした厳しい状況においても、新たな知の拠点であるアキシマエンスの竣工、小中学校体育館の空調設備設置への着手、台風被害を受けたくじら運動公園等の復旧など、市民の安心・安全を最優先に施策展開が図られたものと理解する。令和3年度は、市税をはじめとする一般財源の大幅な減収により、例年に見込まれている。新しい昭島の未来に向けて、まちづくりのため、選択と集中を旨とした行政経営を願い、本決算に賛成する。

賛成

公明党昭島市議団

吉野 智之 議員

令和元年度の決算は、防災行政無線デジタル化事業、アキシマエンスのオープン、小中学校体育館空調機器設置工事事業、子ども発達プラザホエールの開所、

賛成

自由民主党昭島市議団

佐藤 文子 議員

子どもへの貧困対策に踏み出さない市の姿勢は、子どもを「困窮を放置し続けていることであると指摘する。耐え難い被害に苦しめられてきた市民に寄り添い、横田基地の機能強化には、反対の立場を明確にすべき。また、エッセンシャルワーカー等へ、計画的にPCR検査を実施するとともに、検査数のキャパシティ拡大についても、最大の知恵と力を注ぐべきである。

3画下段へ続く